

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

『グループ対抗里山デジカメ選手権』の公開最終審査会を開催



発表会場入口に展示してある作品（写真）を見る来場者



グループの代表が作品について熱いメッセージを語っている様子



各グループの発表が終わり審査している様子



特設ステージにおいて表彰状を手渡し本村局長（表彰式の様子）

【計画部 箕面森林環境保全ふれあいセンター】

10月8日（土）に「水都おおさか森林の市2011」の会場である近畿中国森林管理局1階「こもれび」及びOAP特設ステージにおいて、「平成23年度グループ対抗里山デジカメ選手権」の最終審査会及び表彰式を公開で開催しました。

この選手権は、里山に暮らす動植物や森林づくり活動、森林環境教育活動などの撮影を通じて、里山の現状や役割を多くの人に伝えることを目的とし、今回で5回目となります。

また、今年は、国連が定める「国際森林年」にあたることから、そのテーマになっている「森を歩く」に関連する作品も募集しました。

「身近な森林の再発見!!」をテーマに、写真3枚1組↑

を1作品として募集したところ、学校、森林・林業活動グループ、企業・家族など全国から69グループの応募があり、この中から一次審査を通過した30グループが最終審査に進みました。

最終審査では、一次審査を通過した各グループの代表が日頃の活動や作品の説明、里山への熱い思いをスピーチし、単に映像の美しさにとどまらず、作品に込められたメッセージ性も審査し、写真家の今森光彦氏、農学博士の只木良也氏、フリーアナウンサーの青山佳世氏の3名と本村局長も審査に加わり、最優秀賞（林野庁長官賞）1点、水都おおさか森林の市実行委員長賞1点、優秀賞（近畿中国森林管理局長賞）7点に、国際森林年特別賞1点も設け計10点の入選作品を決定しました。



「グループ対抗里山デジカメ選手権」入賞者

◎最優秀賞（林野庁長官賞）

『さとやまの雨』

広島県立庄原格致高等学校写真部B（広島県庄原市）
倉谷 朱梨 三嶋 勇吾 藤原 優生



【作者からのメッセージ】

この写真は、私たちの住んでいる町の吾妻山というところで撮影しました。雨が降る中での撮影で、とても大変な状況でしたが、それでは雨に濡れている自然を撮ろうということになりました。昆虫や植物が雨に濡れて水滴がついている姿は、どこか神秘的で里山の森の生命力が伝わってくる気がしました。トンボを撮影するときは、スローシャッターなのに動くので、どうしてもぶれてしまい大変でしたが、粘って何度も何度もシャッターを切りました。大木にコケが付き、その上に生えている小さな植物がありました。とても小さいのでマクロレンズを使って、水滴が落ちる瞬間に狙いを定めて何度もシャッターを押しました。また、この山の中腹には池があります。雨に打たれながらも懸命に咲く蓮がありました。ハチがちょうど飛んで来た瞬間を逃さず撮りました。

レンズに雨がついて濡れないように部員たちで協力して、傘を持つ人や泥の上に荷物は置けないのでそれを持つ人など、チームプレイで協力して「さとやまの雨」という作品ができました。雨の中の撮影は大変でしたが、雨を生かしての写真を撮るのは初めての体験でした。雨にぬれた動植物・風景に新しい発見がありました。それをこれからの撮影に生かしていきたいと思います。

◎ 水都おおさか森林の市実行委員会賞



【一般部門】
『自然がくれた笑顔』
デジカメ姉妹

兵庫県西宮市
内蘭 美子 瀧口 久美子



②【一般部門】
『森林の美』
江頭家族Ⅱ

大阪府堺市
江頭 博幸 江頭 茉莉



◎ 優秀賞（近畿中国森林管理局賞 7 作品）

①【一般部門】
『春を呼ぶ炎』
友人同士

岡山県真庭市
沼田 多作 谷岡 隆志 松岡 守



③【森林・林業活動部門】
『育む・遊ぶ・学ぶ』
特定非営利活動法人木曾川・水の始発駅

長野県木祖村
湯川 喜義 岩原 大輔



◎ 国際森林年特別賞

④【森林・林業活動部門】
『素敵な出会いを育む森』
トヨタの森愛知県豊田市
大原 満枝 杉山 時雄【森林・林業活動部門】
『森を歩く』
滋賀森林インストラクター会滋賀県草津市
浅香 剛 田中 孝雄 高橋 優⑤【森林・林業活動部門】
『台場クヌギ林の再生から
里山文化を楽しむ！』
ひとくらクラブ兵庫県川西市
和田 勲 橋原 朋子 和田 久美

地域ニュース

平成23年度 国有林モニター会議
(第2回・岡山県) の開催

【企画調整室】近畿中国森林管理局では、国有林を開かれた「国民の森林」とするよう取り組んでおり、国民の皆さまのご意見やご要望を国有林の管理経営に反映させるため、管内70名の方に「国有林モニター」として、近畿中国森林管理局の取組に関する情報提供やモニター会議、アンケートなどを通じ、ご意見をお伺いしています。

今回、10月25日に国有林モニター会議（第2回）を開催し、岡山県内の国有林で現地見学及び意見交換会を実施しました。

現地見学会では、現在、森林整備事業実施中の三光山^{さんこう}国有林（新見市）において、列状間伐や間伐材の搬出作業（生産事業）を見学しました。

⑥【学校部門】
『涼しい里山』
岡山県立高梁城南高等学校
写真部A岡山県高梁市
柴田 彩名 佐藤 萌々子 藤澤 遥⑦【学校部門】
『大原の大切な自然』
京都大原学院 自然守り隊っ！京都府京都市
中林 香穂 安井 有希 山本 莉帆

高性能林業機械
を使用して、森
林整備した列状
間伐地を見学す
る様子（三光山
国有林）



モニターの方々からは、高性能林業機械や地形に沿った路網作設による林業経営の将来像を目の当たりにして、「将来の日本の林業に希望が見えました」、「実際の作業現場を目にして、林業の大変さを痛感しました」等のご意見をいただきました。



国有林モニターの方々の意見交換会の様子
(森林技術センターの会議室)

また、意見交換会に先立って、会場となった森林技術センター所長より、当センターが行っている技術開発や准フォレスター研修の実施状況について紹介しました。

意見交換会では、モニターの方々から当局の取り組みや森林・林業への要望など、次のような意見が寄せられました。

- ・公益的機能を発揮させる森林づくりへ、一般市民として協力していきたい。
- ・教職員を対象とした森林環境教育セミナーを開催し、先生から子供へと林業について教えて欲しい。
- ・高性能林業機械の開発・製造の分野で、日本に技術力を活かした発展を遂げて欲しい。
- ・フォレスターの認知度を高めていく取り組みが必要。
- ・子供達が林業に興味を持ち、将来林業を行ってみたいと思えるようなPR活動が必要。

今回の会議で得られた貴重なご意見・ご要望を今後の国有林野の管理経営に反映させるよう努めていきたいと考えています。

関連ホームページ
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

地元小学生と自然観察会を実施(浜山国有林)

【石川森林管理署】10月7日、石川県加賀市橋立町にある浜山国有林において、毎年恒例である橋立公民館主催の自然観察会が開催され、同署職員5名と、橋立小学校6年生18名、黒崎小学校5・6年生12名、教職員5名が参加し、海岸林を散策しました。

当日は天候に恵まれるなか、公民館長さんから海岸林の歴史について「以前は平らな海岸であったが、昔の人が砂を盛り上げて、海岸沿いに丘を作った」話や、「波の浸食で陸地が削られ、現在は小島ようになった」などの話がありました。

石川森林管理署からは国有林と国定公園や保安林等の話を行い、「防風保安林を知っていますか。」と質問

したところ、「風から道路や家を守るための林です。」と返事があったことには驚きました。



写真上：職員の説明を聞き、葉っぱ、枝、樹皮、臭い等で樹木の名前を覚える小学生

写真右：測桿を用いて樹木の高さを測定している様子

その後は、小学生を3班に分け、各職員それぞれが、海岸に自生する樹木を見て歩き、その特徴や見分け方、名前の由来などを紹介したり、松くい虫対策と、海岸防災林造成の取組などの説明を行い、生徒は真剣にメモを取っていました。また四苦八苦しながら説明する中、「この実は何ですか」と質問されるなど、スキルアップの必要性を感じた一日でした。

関連ホームページ
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/isikawa/>

お知らせ



平成24年度「国有林モニター」を募集

近畿中国森林管理局では、国有林を開かれた「国民の森林」とするよう取り組んでおり、その一環として、国有林の事業運営等について、国民の皆さまの理解を深めるとともに、ご意見やご要望をお聞きして国有林野行政に反映させるため「国有林モニター事業」を実施しているところです。

この度、平成24年度「国有林モニター」を募集いたしますので、多くの皆様からのご応募をお待ちしております。

詳細につきましては、下記アドレスよりご覧下さい。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/pdf/24monita231212.pdf>